

評価A:目標以上の実績、評価B:概ね目標に近い実績、評価C:概ね目標の半分程度の実績、評価D:ほぼ実績なし

I. 経営支援計画の内容	計画書該当頁	目標値	実績値	評価	実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	協議会からの意見
1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】						
1.各種レポートの分析情報の提供 別紙資料 1	10	4回	4回	A	(実施内容) 北海道商工会連合会の中小企業景況調査ととましん景況レポートを中心に取りまとめで 経済レポート を4回作成し、商工会員に配布した。 (もたらされた効果や課題) 地域の経済動向に関心を引き寄せることはできたと思われる。計画通りの配布を行うことができた。 (今後の対応等) 次年度も計画通り、最新の情報を提供していき、経済レポートから次の行動につながる施策を伝達できるようにすることを旨とする。	
2.町内事業者の実態調査	10	40件	33件	B	(実施内容) ヒアリングシートに記入し、景況感の取りまとめや各事業所の課題等の洗い出しを目的としている。 (もたらされた効果や課題) 決算指導時に実施したことにより、決算内容の確認と翌年の動向を捉えることができた。課題のある事業所について支援内容の把握をすることができた。 (今後の対応等) 今後も決算指導時に重点を置きつつ、融資や補助金活用時のタイミングでも景況感や課題等の聞き取りを行う。経営分析や経営計画の策定へつなげることを旨とする。	
3.RESASの地域経済分析による情報提供 別紙資料 2	10	1回	1回	A	(実施内容) 事業計画策定に必要な環境分析のため、RESAS(経済産業省)を活用した地域経済動向の更新を行い、商工会HPに掲載した。 (もたらされた効果や課題) RESASの客観的データを活用することで、補助金申請や事業計画書作成時に、人口減少率や市場規模の推移など具体的な数値を根拠として示すことが可能となるが個々の事業者の売上状況や顧客構成といった実情にそのまま当てはまるものではない。そのため、事業者ごとの実態と照らし合わせながら補足説明を行う必要がある。 (今後の対応等) 今後は、RESASデータを単体で活用するのではなく、商工会が保有する会員事業者データや持続化補助金の活用実績と組合せることで、地域内での業種が成長傾向にあるのか、どの分野にニーズが高いのかを分析していく。	

評価A:目標以上の実績、評価B:概ね目標に近い実績、評価C:概ね目標の半分程度の実績、評価D:ほぼ実績なし

I. 経営支援計画の内容	計画書 該当頁	目標値	実績値	評価	実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	協議会からの意見
2. 需要動向調査に関すること【指針①】						
1.地場産品活用事業者への需要動向分析の提供 <div data-bbox="97 719 300 763" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">別紙資料 3</div>	11	2件	2件	A	(実施内容) ホットペーパーグルメやmacaroni発表のトレンドグルメ予想などの 食情報 をとりまとめたものを2回作成し、商工会HPで提供した。 (もたらされた効果や課題) 情報提供だけに終わるのではなく、商品開発の専門家派遣事業や設備投資にも活用出来る持続化補助金の情報も合わせて提供した。 (今後の対応等) 次年度も計画通り、最新情報を提供していきたい。	
2.消費者への需要動向調査	11	1社	0社	D	(実施内容) 道の駅等で、試食等しながら消費者視点の需要動向調査を実施予定であったが、未実施となった。 (もたらされた効果や課題) 需要調査の方法と情報提供の実施をどうするかが課題である。 (今後の対応等) 需要調査内容を検討した上で継続して実施していきたい	
3.バイヤーへの需要動向調査 <div data-bbox="97 1444 300 1489" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">別紙資料 4</div>	11	1社	1社	A	(実施内容) 町内の食品製造小売業や飲食店等が、関係機関の主催する商談会参加時に、バイヤーから既存商品のブラッシュアップを受け商品開発につなげる (もたらされた効果や課題) 今回、商談会(北の味覚、再発見!!)にて、バイヤーから輸出するにあたっては、賞味期限が短すぎるため、設備を導入して、見直してみてもとのアドバイスを受けた。現在、真空包装機を持続化補助金で導入し、試作中である。 (今後の対応等) 各行政機関等と連携し、情報を速やかに伝達するだけでなく、対面で商談会の詳細説明を行う。また、 専門家派遣 を活用してバイヤー対応の方法を事前に学び、商談の場で有益な情報を引き出せるよう準備を整える。	
3. 経営状況の分析に関すること【指針①】						
1.経営分析の実施 <div data-bbox="97 1973 300 2018" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">別紙資料 5</div>	13	40件	33件	B	(実施内容)クラウド会計ソフトMA1による経営分析を33件実施した。 (もたらされた効果や課題) 経営指標による経営分析を行った事業所については、資料に基づき客観的に事業状況を説明できた。 (今後の対応等) 商工会で導入しているMA-1に限らず、弥生会計など他の会計ソフトを利用している事業者に対しても経営分析を広げていきたい。自動会計機能を活用している事業者も多いが、帳簿の仕組みを十分に理解しないまま処理しているケースも見受けられるため、基本的な会計知識の確認と適切な助言を行う。これにより、使用ソフトに関わらず、正確なデータに基づく経営分析と改善提案ができる体制を強化していく。	

評価A:目標以上の実績、評価B:概ね目標に近い実績、評価C:概ね目標の半分程度の実績、評価D:ほぼ実績なし

I. 経営支援計画の内容	計画書該当頁	目標値	実績値	評価	実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	協議会からの意見
4. 事業計画策定支援に関すること【指針②】						
1.経営計画の作成	15	16件	8件	C	<p>(実施内容) 事業者に対し、ヒアリングを重ねることで自社の強み・弱みの再確認を促し、それらを具体的な文章として整理することで実効性のある事業計画策定を支援した。その結果、4件の融資案件および4件の持続化補助金申請に係る事業計画策定支援へと結び付けた。</p> <p>(もたらされた効果や課題) 事業計画を策定したことで、自社の現状分析と将来像の明確化が図られ、具体的な行動へと移すことができた。融資の活用により資金繰りの安定化が図られた。また、補助金申請を契機に販路開拓や設備導入などの取組が具体化した。一方で、計画策定後の実行状況の確認や進捗管理が十分でなければ、効果が一時的なものにとどまる可能性があるため、継続的なフォローアップ体制の強化が課題である。</p> <p>(今後の対応等) 補助金や融資制度を活用した事業計画策定支援を引き続き実施するとともに、策定後の進捗確認や課題整理を定期的に行い、実行支援に重点を置いた伴走型支援を強化する。また、セミナーや専門家派遣事業を積極的に活用し、経費を抑えながら売上増進や収益改善につながる具体策の検討・実践を支援する。</p>	
2.経営計画の作成セミナーの開催	15	1回	1回	A	<p>(実施内容) 事業計画策定セミナー1回「資金繰りを改善し、強い事業計画をつくる方法を学ぶ」と題して講習会を開催したところ、6事業所から8名の参加があった。経営計画における現況下での事業計画策定のヒントを求めた。</p> <p>(もたらされた効果や課題) 参加者は事業計画策定の基本的な考え方や具体的な手法を学ぶことができ、現況分析や資金繰り改善の重要性について理解を深めることができた。一方で、セミナー当日は理解・納得が得られても、その後の実践や計画書への落とし込みまで継続できないケースが見受けられることが課題である。</p> <p>(今後の対応等) セミナーを単発で終わらせるのではなく、個別相談やフォローアップ支援を組み合わせることで、学びを具体的な事業計画書へと落とし込む伴走支援を強化する。今後も様々な視点から経営計画策定に資するセミナーを実施するとともに、実践につなげる継続的なフォロー体制の充実を図っていきたい。</p>	

評価A:目標以上の実績、評価B:概ね目標に近い実績、評価C:概ね目標の半分程度の実績、評価D:ほぼ実績なし

I. 経営支援計画の内容	計画書該当頁	目標値	実績値	評価	実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	協議会からの意見
3.新たな事業展開者の事業計画の策定支援	15	2件	0件	D	<p>(実施内容) 新たな事業展開を志向する事業者に対し、事業構想の整理や方向性の確認を行ったが、具体的な事業計画の策定には至っていない。</p> <p>(もたらされた効果や課題) 新たな事業展開は、後継者不足に悩む事業者の受け皿となる可能性があり、地域産業の維持・活性化につながる重要な取組である。一方で、収益見通しや人材確保、既存事業との両立などの課題が整理しきれておらず、具体的な計画策定まで踏み込めていない点が課題である。</p> <p>(今後の対応等) 定期的な巡回訪問を通じて売上・利益の状況を把握し、経営課題の明確化を図るとともに、新事業の方向性や業種選定のポイントを丁寧に説明する。あわせて、収支シミュレーションや実行スケジュールの作成支援を行い、実効性のある事業計画策定へと段階的に導いていく。</p>	
4.創業計画の策定支援 別紙資料6 別紙資料7 別紙資料8	15	1件	0件	D	<p>(実施内容) 新たな事業展開者の事業計画の策定にはいたっていないが、現在、3社の創業支援を受けている。また、事業承継に関わる相談を受けて、北海道中小企業総合支援センター、役場、中小企業診断士との連携をはかり、買い手・売り手ともに疑問を解消できる体制づくりをおこなっている。5年ぐらいを目途に事業承継を考えている。</p> <p>(もたらされた効果や課題) 創業相談で終わるのではなく、創業計画へ結びつけていく必要がある。また、事業を引き継ぐことにより、新たな創業者が誕生し、安定した収益体制を気づくことは可能であるが、そのためには、買い手と売り手の情報の共有化のためのフォローアップが必要である。</p> <p>(今後の対応等) むかわ町と金融機関と連携し、産業競争力強化法における市町村の創業支援を視野にいれて、創業者への補助金、融資、販促活動、手続きをパッケージ化した支援体制を構築し、創業計画の策定・実施を促すように準備を進める。各種セミナー、専門家派遣、巡回支援の実施により、事業が軌道になるまでの支援の実施を目指す。創業者には、「むかわ町商工会経営支援メニュー」や「商工会のご案内」を配付することで、商工会の活用をしていただく。</p>	
5. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】						
1.フォローアップ対象事業者数及び頻度 別紙資料9	16	19社 ・ 70回	16社 ・ 72回	B	<p>(実施内容) 持続化補助金採択事業所及び融資を受けた事業所に対し、各種施策情報を提供した。 専門家派遣(延べ7回)や個別相談会(イラストや似顔絵の活用)の実施や各種セミナー4回(商談会対応、POP、Googleビジネスプロフィール、写真の撮り方)の積極的活用をおこなった。</p> <p>(もたらされた効果や課題) 事業計画を完了できるよう支援することができた。専門家派遣に経営指導員が常に同行し、アドバイスを記録することで、職員のスキルアップの向上にも寄与した。</p> <p>(今後の対応等) 事業計画を策定した事業所に対し、事業計画内容に合う情報の提供等は継続して支援していく</p>	個別相談会を活用した小野寺委員より、本年1月に実施した事業で、店内POPのイラスト支援をいただいたことで、SNSでも反響があり、好評を得ていると報告があった。

評価A:目標以上の実績、評価B:概ね目標に近い実績、評価C:概ね目標の半分程度の実績、評価D:ほぼ実績なし

I. 経営支援計画の内容	計画書 該当頁	目標値	実績値	評価	実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	協議会からの意見
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事【指針④】						
1. 商談会への出店事業者数	18	1件	1件	A	<p>(実施内容) 8社に対して4回、商談会等開催情報を提供し、1社が商談会に出席した。</p> <p>(もたらされた効果や課題) 事前に商談会対応セミナーの受講、専門家派遣による商談資料のブラッシュアップ、商品特性を分かりやすく伝えるPOP制作支援を行ったことで、当日は自社商品の強みやターゲットを明確に説明でき、バイヤーから具体的な質問や取引条件に関する打診を受けることができた。一方で、生産体制の整備やアフターフォロー体制の構築が課題である。また、出展事業者数が1社にとどまっているため、参加意欲の喚起や情報提供方法の工夫も必要である。</p> <p>(今後の対応等) 今後も支援を継続していくことで出展を継続し、販路開拓・拡大に寄与していく。</p>	
2. 展示販売会等への出店事業者数	18	1件	2件	A	<p>(実施内容) 8社に対して5回、物産展等開催情報を提供し、2社が物産展に出店した。</p> <p>(もたらされた効果や課題) 出店事業者は新規顧客との接点創出や商品認知度向上につながり、来場者の意見を今後の商品改良や販路拡大に生かす機会となった。一方で、各事業者は独自の出展チャネルを有している場合も多く紹介案件とのマッチングが難しいこと、また初出店者は売場づくりや商談対応などのノウハウ不足に不安を抱えている点が課題である。</p> <p>(今後の対応等) 今後も支援を継続していくことで出展を継続し、販路開拓・拡大に寄与していく。</p>	
3. 道の駅等の催事等出店事業者数	18	1件	0件	D	<p>(実施内容) 道の駅等で、商品の改良や新商品の評価を得るため、アンケート調査を伴う販売支援を行う目的だが本年度は実施企業はなかった。</p> <p>(もたらされた効果や課題) 催事販売を希望する事業所の掘り起しが必要。</p> <p>(今後の対応等) じっくり対象事業所を洗い出していきたい。</p>	

評価A:目標以上の実績、評価B:概ね目標に近い実績、評価C:概ね目標の半分程度の実績、評価D:ほぼ実績なし

I. 経営支援計画の内容	計画書該当頁	目標値	実績値	評価	実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	協議会からの意見
4.HP作成支援事業者数	18	5件	0件	D	<p>(実施内容) 商工会員が無料で利用できる「グーペ」によるホームページ作成支援を行い、顧客へのPRおよびネット販売への導線づくりを推進した。また、Googleビジネスプロフィールの活用方法をあわせて説明し、検索からHPへの誘導強化を図った。</p> <p>(もたらされた効果や課題) 既にネット販売を実施している事業所は一定数あるものの、新たに取り組む事業所の掘り起こしが課題である。新規HP開設は0件と目標を下回り、既存HPについても更新頻度が低い事業者が多いことから、継続的な情報発信の重要性の啓発や、ネタづくりを含めた具体的支援が必要である。</p> <p>(今後の対応等) 掲載希望事業所の募集を継続するとともに、経営支援の中でネット販売が有効と見込まれる商品・サービスについては積極的にHP掲載を促す。あわせて講習会への参加を促進し、更新頻度の向上と内容の充実を支援し、販路開拓につなげていく。</p>	
5.特産品販売所、飲食店等のマップ配付 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">別紙資料10</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">別紙資料11</div>	18	1件	0件	D	<p>(実施内容) 飲食店等の34事業所をマップ形式のパンフに掲載し広報し、。作成したパンフを道の駅、ぼぼんた市場、各店舗に配布依頼をして、2000部の製造・配布予定であったが、今回、未実施であった。在庫の一部について、町内の宿泊施設であるワークマンハウスへ配布をおこなった。</p> <p>(もたらされた効果や課題) 今年度、マップ配付は実施できなかったが、次年度以降、パンフの内容を見直し、手に取ってもらえる工夫をしていきたい</p> <p>(今後の対応等) 今まで作成してきたパンフレットを土台として、次は手に取って、「行きたい」と思っていただけの紙面づくりを考えていく必要がある。その一つとして、なつかしさを感ずる商品のイラストや店主の顔がわかるパンフにすることで、文字だけでは伝わらない親近感を覚えていただき、町内回遊のきっかけ作りを行う。</p>	買う食べるパンフレットについて、いつごろの完成を予定しているか、という質問があった。6月末の採択を受けて、10月までの完成を予定していると説明したところ、恐竜博物館のオープンがあるので、出来る限り早く完成してほしいと依頼があった。データは完成しだい提供し、完成予定も前倒ししたいと考えています。

7.事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

1.事業の成果・評価・見直し	20	1回	-	-	<p>(実施内容) 第三者をまじえて、経営発達支援計画協議会において、事業の実施状況、成果の評価、見直しを行った。以上の経緯を踏まえ、理事会で評価等の方針を決定して、総会で報告、承認を得る予定。</p> <p>(もたらされた効果や課題) 経営改善普及事業推進委員会や第三者の意見を聴くことにより、客観的に評価を受け課題の抽出をすることができると考える。</p> <p>(今後の対応等) 各段階で出された意見も参考にしつつ、総会で承認された事項について目標を達成できるよう経営支援事業を進めていきたい。</p>	
----------------	----	----	---	---	--	--

評価A:目標以上の実績、評価B:概ね目標に近い実績、評価C:概ね目標の半分程度の実績、評価D:ほぼ実績なし

I. 経営支援計画の内容	計画書 該当頁	目標値	実績値	評価	実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	協議会からの意見
8.経営指導員等の資質向上等に関すること						
1.職員の研修参加と 取得情報の共有化	21	経指2 補助1 記専1	経指2 補助1 記専1	A	<p>(実施内容) 経営指導員2名を、中小企業大学校への専門研修に派遣し、「新商品開発支援の進め方」と「小規模事業者のWebマーケティング支援」をそれぞれ受講し、支援能力の資質向上を図った。 オンラインで開催された情報化支援担当者会議(記専)では各種支援策を公聴した。経営指導員はWEB研修を受講した。</p> <p>(もたらされた効果や課題) 経営発達支援に関する資質の向上が図られたが、賃金高騰や物価高騰の影響は長く続いており、柔軟に対応できる指導力が求められている。</p> <p>(今後の対応等) より資質の向上を目指し、各種研修等へ積極的に受講していきたい。現在、無料のオンラインでの受講が増えており、時間や金銭的負担が少ないため、職員の積極的な参加を行う。</p>	
9.他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること						
会議等の出席及び 情報の共有	22	5回	8回	A	<p>(実施内容) 全道経営指導員研修会、マル経協議会2回、胆振管内商工観光施策説明会、共済・金融担当者会議、むらおこし事業に係る実践的取組事例展開普及会議、小規模事業者持続化補助金説明会、経営発達支援計画策定説明会(以上指導員出席)で各種施策や他の商工会の事例を公聴し、回覧等で情報の共有を図った。</p> <p>(もたらされた効果や課題) 各種会議への出席を通じて、最新の施策動向や制度改正のポイント、他商工会の先進的な支援事例を把握することができた。一方で、会議出席のみでは情報収集が断片的になりやすく、制度改正や公募開始等のタイムリーな情報を網羅的に把握することには限界がある。そのため、行政機関ホームページや各種メディア等を活用した継続的かつ主体的な情報収集体制の強化が課題である。</p> <p>(今後の対応等) 支援事業を効果的に実施するためには、施策情報の迅速な把握と支援ノウハウの継続的な蓄積が不可欠である。今後も各種会議・研修会へ積極的に参加するとともに、行政機関ホームページや報道媒体からの情報収集を定期的に行い、組織内での共有体制を強化する。あわせて、他商工会の先進事例の聞き取りや、事例集の活用・分析を進め、成功要因や支援手法を自会の支援活動へ反映させる。単なる情報取得にとどまらず、地域の実情に即した形で施策を“使いこなす支援”へと発展させることを目指す。</p>	

評価A:目標以上の実績、評価B:概ね目標に近い実績、評価C:概ね目標の半分程度の実績、評価D:ほぼ実績なし

I. 経営支援計画の内容	計画書 該当頁	目標値	実績値	評価	実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	協議会からの意見
10.地域経済の活性化に資する取組み						
1.むかわ町産業関係 団体長会議等への 出席による共有意識 の醸成	23	1回	1回	A	<p>(実施内容) むかわ町産業関係団体長会議に出席し、9団体で意見交換を実施した。</p> <p>(もたらされた効果や課題) 本会議は2年ぶりの開催となり、各団体が直面している課題を共有する貴重な機会となった。具体的には、人手不足、賃金の上昇、地域資源の変化などが共通課題として挙げられ、現状認識の共有と今後の方向性を検討する場となった。</p> <p>(今後の対応等) 今後も継続的に会議へ出席し、団体間の情報共有と課題に対する共通認識の醸成を図る。あわせて、商工業者の発展に資する具体的な支援策の検討・実行に向け、積極的な意見交換を継続していく必要がある。</p>	<p>役場にて観光パンフの更新を考えてる。拠点整備では、四季の館にデジタルサイネージによる映像の発信での観光案内を考えており、皆さんの協力をお願いする旨の報告があった。</p>